

小杉庁舎跡地利活用事業者に係る公募型プロポーザル審査結果

平成 28 年 9 月 16 日
射 水 市

小杉庁舎跡地利活用事業について、公募型プロポーザル方式により、次のとおり優先交渉事業者を選定しましたのでお知らせします。

1 事業の名称

小杉庁舎跡地利活用事業

2 審査経緯及び結果

企画提案書の提出のあった 1 者について、有識者で構成する射水市庁舎跡地利活用事業者検討委員会（以下、「委員会」という。）で審査した結果を踏まえ、次の者を優先交渉事業者として選定した。

（審査日程）

平成 28 年 7 月 25 日 第一次審査（書類審査）

平成 28 年 8 月 17 日 第二次審査（プレゼンテーション及びヒアリング）

（提案者及び提案内容）

- ・ 提案者 学校法人片山学園
 - ・ 提案内容 片山学園初等科の設置
 - ・ 土地買取提案価格 39,500 円 / m²（提案面積 13,602 m²）
- 提案事業の概要は別紙のとおり

（審査結果）

優先交渉事業者 学校法人片山学園

委員会における各委員の評価点の平均 76.3 点（100 点中）

3 講評

今回、提案のあった学校法人片山学園は、県内に中高一貫校や、デザイン専門学校を開設しており、優れた人材育成について評価を得ている法人である。

片山学園から提出された提案は、小杉庁舎跡地において、1学年あたり50名の「片山学園初等科」を開設し、私立学校ならではの特色ある教育を実践していく内容のものであった。

当学園がこれまで中高一貫校で培った教育指導方針もさることながら、将来の日本を背負う人材を、射水市で学んだ児童から国内外に輩出したいという情熱や、公立学校の児童や教員との交流等を積極的に行うことで、射水市全体の教育の質の向上にも寄与したいとの意気込みが感じられた。

施設面においては、体育館や集会室などの学校施設を、地域スポーツ活動や生涯学習活動といったコミュニティ活動の場として開放するとともに、災害時の避難施設として和室や調理室等の開放、さらには、地域用の防火水槽の設置も検討するなど、積極的に地域に関わりを持ち、これまで公共施設が果たしてきた役割の一端を担っていききたいという提案がなされた。

また、射水市全体や小杉地域のまちづくりの観点から本提案事業を考えた場合、小杉地域の文教地区としての魅力の更なる向上や、射水市全体の教育の質の向上、地域防災力の向上、地域住民の生涯学習活動の推進等が期待できることから、第2次射水市総合計画における重点プロジェクト「人づくりに関する政策」や「安全・安心に関する政策」の考え方や、射水市庁舎跡地等検討委員会からの提言の「地域の個性を生かす拠点づくり」という基本理念にも合致するものと認められた。

以上、射水市が進めるまちづくりの方向性や小杉地域の特性について十分な理解がなされ、人づくり、まちづくりの両面において、長期的に、射水市や小杉地域の更なる発展に資することが期待できることから、私立学校初等科の設置を提案した学校法人片山学園を優先交渉事業者としてふさわしいと評価したものである。